

## スクールカウンセラー研究会 日記

### 第7話 「望み」に対してどう「臨む」の巻

学校現場で先生によく尋ねられる「なんなんでしょう?」「～してみても大丈夫ですかね?」という問い。生徒の現状や心模様を伝えるが、きちんと先生と連動できたと感じることはどれくらいあるでしょうか…?先生の思いと心理士の思い、それが少しでも歯車が合わなくなった時にどのように動くのか。

学校では、先生と対立関係ではなく同盟関係で動いていくことが求められます。そして依頼されたことに対して、どういった立場で臨むのかを立ち止まって考える。そんな時のかんどころについて話しをしました。

記録： はんない (臨床心理士)

日時：2011年11月26日(土) 19:00-21:00

場所：茨木市男女共生センター ローズWAM

参加者：5名(大阪SC、兵庫SC、京都SC)

本日の話題：

1. スポ根教師よ、STOP 暴走！役割を再考しませんか？
2. 教心同盟(関係)を築く ～「検査」の目ではなく「支える」目を教室へ～
3. 「あの手この手」に、こっちは「その手」